



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月9日

上場取引所 東

上場会社名 JMACS株式会社

コード番号 5817 URL <http://www.jmacs-i.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植村剛嗣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長

(氏名) 上田裕一

TEL 06-4796-0020

四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	2,211	△11.9	△133	—	△108	—	△72	—
27年2月期第2四半期	2,510	18.6	148	266.1	179	203.3	131	112.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	△15.62	—
27年2月期第2四半期	28.24	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	7,092	4,829	68.1
27年2月期	6,710	4,968	74.0

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 4,829百万円 27年2月期 4,968百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 2月期の業績予想(平成27年 3月 1日～平成28年 2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,203	△0.9	33	△83.9	79	△70.3	38	△81.7	8.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期2Q	4,691,555 株	27年2月期	4,691,555 株
28年2月期2Q	31,838 株	27年2月期	31,778 株
28年2月期2Q	4,659,764 株	27年2月期2Q	4,659,777 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算短信に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、中国の景気減速等、海外景気の先行きに不透明感はあるものの、政府・日銀による財政・金融政策により、大手企業を中心とした企業収益、雇用・所得環境の改善が続く等、全体として景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、当社の係わる電線業界におきましては、消費税率引き上げの影響が一巡したことや都心における新設住宅着工戸数の持ち直し等の基調があるものの、公共投資が依然として低調に推移したこと等により、前年同期に比べ、銅電線出荷量は、減少基調のまま推移いたしました。

このような情勢のもと、当社につきましては、配送体制の効率化を目的とした物流センターの移設集約、新規顧客の開拓、高付加価値製品の開発及び拡販等、積極的な営業活動を展開し、受注確保に鋭意努力してまいりました。

また、さらなる事業拡大のため、平成27年3月1日に株式会社アクロスの全事業を譲り受けいたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,211,811千円(前年同期比11.9%減)、営業損失133,586千円(前年同期は営業利益148,653千円)、経常損失108,714千円(前年同期は経常利益179,287千円)、四半期純損失72,793千円(前年同期は四半期純利益131,575千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より、平成27年3月1日付で、株式会社アクロスの全事業を譲り受けたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の「電線事業」の単一セグメントより、「電線事業」、「その他」に変更しております。以下の前年同四半期比較は、変更後のセグメント区分に基づいております。

＜電線事業＞

電線事業につきましては、受注の低迷による出荷量の減少及び前年同期に計上のあった大型案件の受注がなかったこと等により、売上高は2,185,520千円(前年同期比13.0%減)となりました。

利益につきましては、生産量の減少及び物流センターの移設費用の計上等による販売費及び一般管理費の増加等により、セグメント損失104,987千円(前年同期はセグメント利益148,653千円)となりました。

＜その他＞

主な事業はライティング事業とシステムソリューション事業であり、売上高26,290千円、セグメント損失28,599千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産残高は7,092,607千円となり、前事業年度末残高6,710,367千円に対し、382,240千円増加いたしました。この主な要因は、有形固定資産971,224千円等の増加要因が、現金及び預金110,104千円、受取手形及び売掛金483,151千円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の負債残高は2,262,815千円となり、前事業年度末残高1,742,241千円に対し、520,574千円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金786,250千円等の増加要因が、支払手形及び買掛金363,407千円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

当第2四半期会計期間末の純資産残高は4,829,791千円となり、前事業年度末残高4,968,126千円に対し、138,334千円減少いたしました。この主な要因は、剰余金の配当額69,896千円、四半期純損失72,793千円等の減少要因によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年10月9日公表の「平成28年2月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	257,752	147,647
受取手形及び売掛金	1,842,098	1,366,230
電子記録債権	95,359	50,433
有価証券	192,649	142,683
商品及び製品	231,486	190,538
仕掛品	111,053	110,080
原材料及び貯蔵品	171,980	161,293
その他	53,612	137,349
貸倒引当金	△194	△142
流動資産合計	2,955,797	2,306,113
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	692,530	1,248,259
構築物(純額)	51,729	62,849
機械及び装置(純額)	217,856	204,374
車両運搬具(純額)	3,469	4,637
工具、器具及び備品(純額)	37,151	39,070
土地	871,511	1,286,281
建設仮勘定	16,848	16,848
有形固定資産合計	1,891,097	2,862,322
無形固定資産	16,166	44,617
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	1,589,094	1,588,131
その他	258,211	291,422
投資その他の資産合計	1,847,305	1,879,553
固定資産合計	3,754,569	4,786,493
資産合計	6,710,367	7,092,607
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	969,514	606,106
短期借入金	230,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	—	42,500
未払金	86,584	126,453
未払法人税等	25,123	5,422
賞与引当金	17,908	38,419
その他	126,735	144,323
流動負債合計	1,455,865	1,193,225
固定負債		
長期借入金	—	786,250
退職給付引当金	106,073	104,139
役員退職慰労引当金	148,416	147,616
その他	31,885	31,583
固定負債合計	286,375	1,069,590
負債合計	1,742,241	2,262,815

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	637,785	637,785
利益剰余金	3,647,864	3,505,174
自己株式	△15,176	△15,200
株主資本合計	4,918,258	4,775,544
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,867	54,246
評価・換算差額等合計	49,867	54,246
純資産合計	4,968,126	4,829,791
負債純資産合計	6,710,367	7,092,607

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
売上高	2,510,917	2,211,811
売上原価	1,893,483	1,818,741
売上総利益	617,433	393,070
販売費及び一般管理費	468,780	526,656
営業利益又は営業損失(△)	148,653	△133,586
営業外収益		
受取賃貸料	33,213	33,203
貸倒引当金戻入額	28	52
その他	3,370	3,529
営業外収益合計	36,613	36,785
営業外費用		
支払利息	1,044	4,787
賃貸収入原価	4,928	7,124
その他	6	—
営業外費用合計	5,979	11,912
経常利益又は経常損失(△)	179,287	△108,714
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	179,287	△108,714
法人税、住民税及び事業税	19,451	2,935
法人税等調整額	28,259	△38,856
法人税等合計	47,711	△35,920
四半期純利益又は四半期純損失(△)	131,575	△72,793

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

当社は、電線の製造及び販売をする事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	電線事業				
売上高					
外部顧客への売上高	2,185,520	26,290	2,211,811	—	2,211,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,185,520	26,290	2,211,811	—	2,211,811
セグメント損失(△)	△104,987	△28,599	△133,586	—	△133,586

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライティング事業及びシステムソリューション事業等を含んでおります。

2. セグメント損失の合計は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更等)

平成27年3月1日付で、株式会社アクロスの全事業を譲り受けたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の「電線事業」の単一セグメントより、「電線事業」、「その他」に変更しております。